

コスモ石油株式会社 第4次連結中期経営計画 2011年度第2四半期進捗状況と今後の方針

2011年11月4日

代表取締役社長	木村 彌一
代表取締役副社長	森川 桂造
取締役常務執行役員	宮本 諭

本日のご説明内容

	2011年度2Q 決算の総括 2011年度通期 業績予想の総括 千葉製油所復旧に向けた今後のステップ 環境変化対応と収益力向上施策(長期ビジョン)	1~4頁	代表取締役社長 木村 彌一
中計の進捗	第4次連結中計の進捗状況	5~8頁	代表取締役副社長 森川 桂造
	2011年度2Q 決算の概要	9~12頁	取締役常務執行役員 宮本 諭
	2011年度通期 業績予想の概要	13~14頁	

総括 石油製品マージンの縮小と代替供給コスト負担の発生により減益

	11年度2Q実績	10年度2Q実績	前年同期比
連結経常利益	276億円	267億円	9億円
在庫評価の影響	131億円	△129億円	260億円
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	145億円	396億円	△251億円

2011年度2Q決算のポイント

石油事業	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地を中心とした国内への安定供給 ・適正マージン確保のための構造的な体制構築が進行
石油化学事業	<ul style="list-style-type: none"> ・石化市況の改善
石油開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・カタール石油開発での新油田からの生産開始

総括

代替供給コストの増加により減益の見直し計画

	11年度通期予想	11年度当初公表	当初公表比
連結経常利益	720億円	840億円	△120億円
在庫評価の影響	120億円	40億円	80億円
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	600億円	800億円	△200億円
受入原油価格 為替	原油:108.0\$/B 為替:78.9円/\$	原油:100.0\$/B 為替:82.5円/\$	原油:+8.0\$/B 為替:△3.6円/\$

2011年度 業績予想のポイント

- ・安全を最優先とした千葉製油所の再稼働を目指す
 - ・安全安定操業による安定供給の確保
 - ・適正かつ安定的なマージンの確保

千葉製油所 復旧に向けた方針

■安全を最優先に千葉製油所の復旧に取り組む

今後のステップ

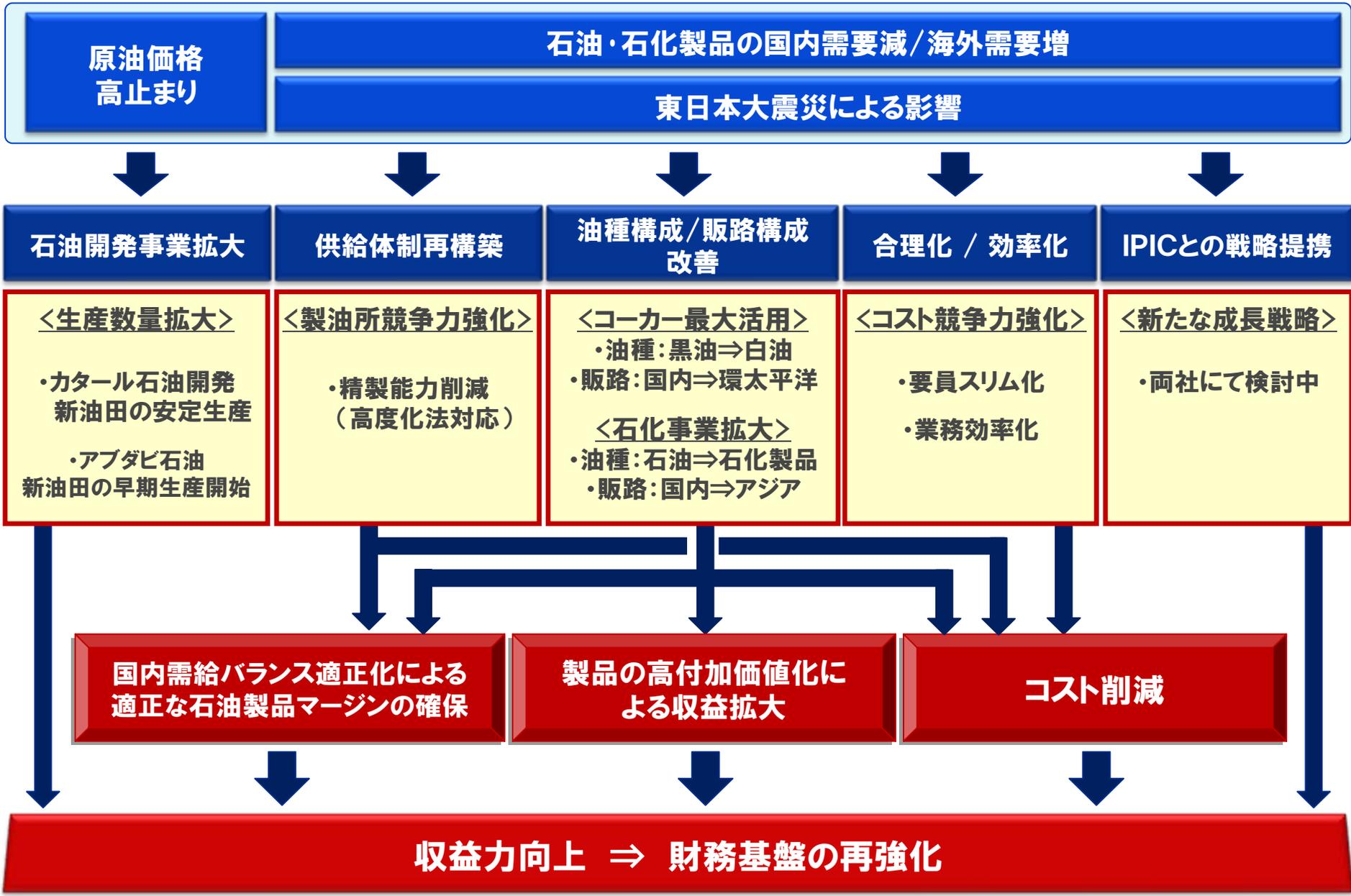
精製装置一部（直接脱硫装置（※1））稼働再開

常圧蒸留装置（※2）稼働再開

千葉製油所 完全復旧（被災LPGタンク完全復旧）

（※1）直接脱硫装置・・・重油留分から硫黄分を回収する装置。主に電力用のC重油を生産。

（※2）常圧蒸留装置・・・原油を加熱し、沸点の差を利用して「ナフサ」「灯油」「軽油」「重油」などに分留する装置。



生産数量拡大

■カタル石油開発 新油田（A構造南部油田）

・2011年4月より生産開始。

■アブダビ石油 新鉱区（ヘイル油田）

・探鉱作業前倒し着手（新利権協定の効力：2012年12月～）。



<競争力の源泉>

- ・産油国との強固な信頼関係
- ・石油開発リスクの小さいエリアでの操業



精製能力削減の考え方

- 4製油所一体操業から新たに最適な供給体制を再構築
- 当社製油所競争力を強化しつつ構造的に国内需給バランスを適正化

国内需給バランス適正化による
適正な石油製品マージンの確保

精製固定費削減による収益拡大

コーカー最大活用

- 付加価値の高い製品への生産シフト : 黒油 (重油) ⇒ 白油 (中間留分)
- 需要の見込まれる地域への販路シフト : 国内 ⇒ 海外 (環太平洋地域)

白油化による収益拡大

国内需給バランス適正化による
適正な石油製品マージンの確保

原油調達コスト低減による
収益拡大

海外販売における当社競争力の源泉

- ・ハイスペック(サルファーフリー)製品の安定供給。
- ・環境規制そのものが参入障壁となる地域をターゲット。
- ・海外需要家とは「長期」「直接」契約を締結。

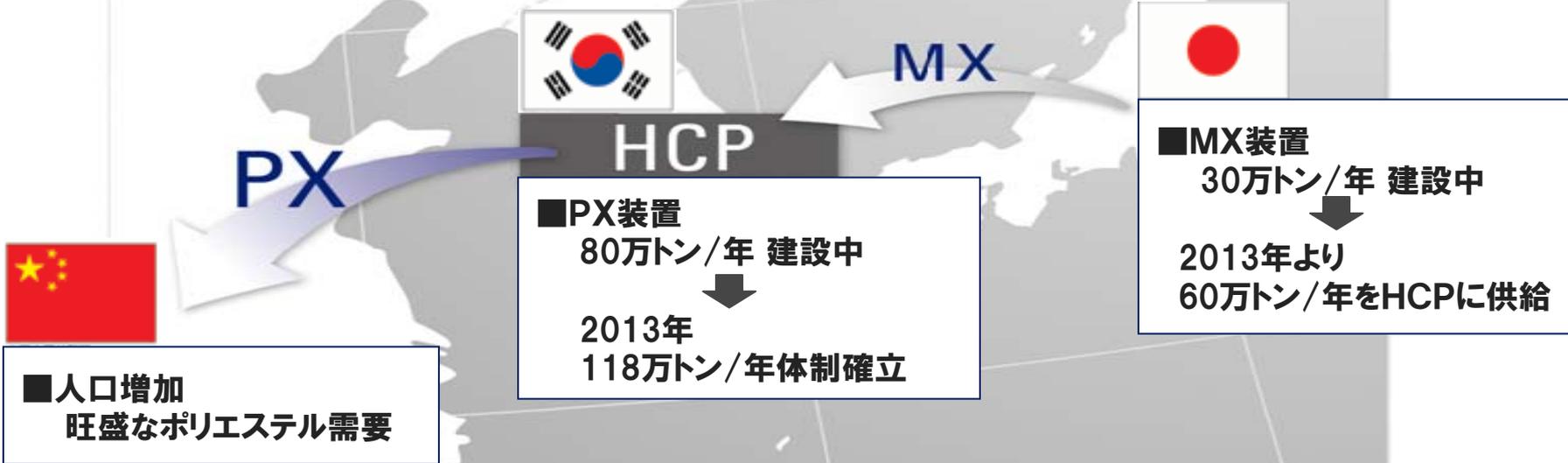
石油化学事業拡大

- 付加価値の高い製品への生産シフト : 石油製品 (ガソリン) ⇒ 石化原料 (MX/PX)
- 需要の見込まれる地域への販路シフト : 国内 ⇒ 海外 (韓国 → 中国)

石化製品シフトによる収益拡大

国内需給バランス適正化による
適正な石油製品マージンの確保

<競争力の源泉 (HC Petrochem)>
・世界最大規模のPX生産能力 (118万トン/年/製油所)
・韓国での事業展開によるコスト競争力。



(単位:億円)

	11年度 第2四半期	10年度 第2四半期	前年同期比
売上高	14,535	12,975	1,560
売上原価	13,635	12,044	1,591
販管費	625	634	△ 9
営業利益	275	297	△ 22
営業外損益	1	△ 30	31
経常利益	276	267	9
特別損益	△ 119	△ 118	△ 1
法人税等	110	117	△ 7
少数株主利益	19	19	△ 0
四半期純利益	28	13	15

【参考】

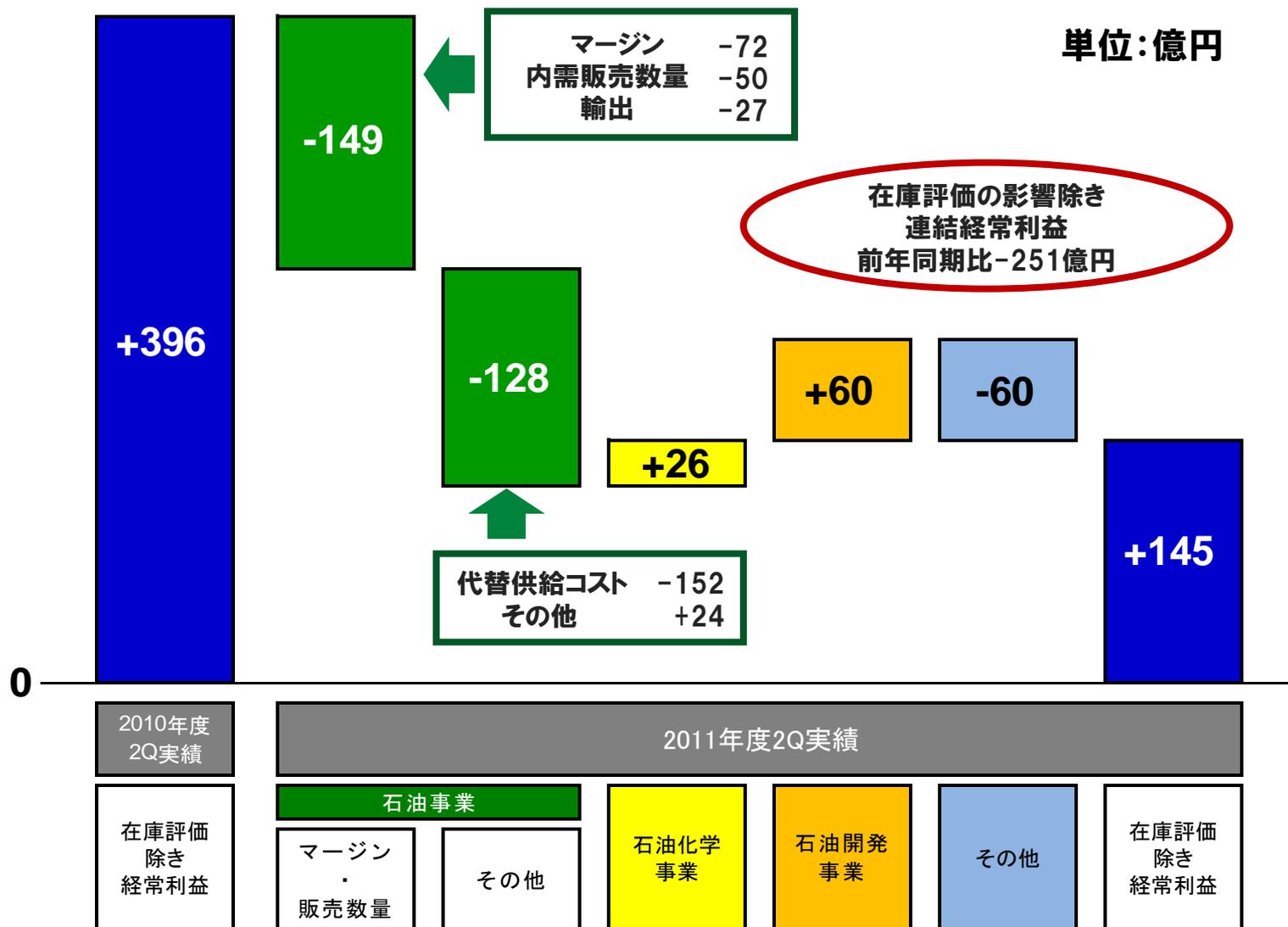
在庫評価の影響	131	△ 129	260
在庫評価除き 営業利益	144	426	△ 282
在庫評価除き 経常利益	145	396	△ 251

	11年度2Q実績	10年度2Q実績	前年同期比
連結経常利益	276億円	267億円	9億円
在庫評価の影響(※)	131億円	△129億円	260億円
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	145億円	396億円	△251億円
受入原油価格 為替	原油: 110.38\$/B 為替: 80.60円/\$	原油: 75.68\$/B 為替: 90.10円/\$	原油: +34.70\$/B 為替: △9.50円/\$

連結経常利益 セグメント別内訳

	11年度2Q実績	10年度2Q実績	前年同期比
石油事業	61億円	81億円	△20億円
石油事業 (在庫評価影響除き)	△70億円	207億円	△277億円
石油化学事業	16億円	△13億円	29億円
石油化学事業 (在庫評価影響除き)	16億円	△10億円	26億円
石油開発事業	252億円	192億円	60億円
その他	△53億円	7億円	△60億円

※在庫評価の影響 石油事業: +131億円



	実績 (11年9月末)	前期末 (11年3月末)比	単位:億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	201	-	休日影響 +269億円含む
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 147	-	
財務活動によるキャッシュ・フロー	118	-	
期末のキャッシュ残高	1,109	166	

	実績 (11年9月末)	前期末 (11年3月末)	増減
総資産	16,088	15,794	294
純資産	3,437	3,502	△ 65
自己資本	3,243	3,327	△ 84
自己資本比率	20.2%	21.1%	0.9ポイント悪化
有利子負債	7,188	7,001	187
有利子負債依存度	44.7%	44.3%	0.4ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	2.2	2.1	0.1ポイント悪化
ネット有利子負債※	6,079	6,058	21
有利子負債依存度	37.8%	38.4%	0.6ポイント改善
D/Eレシオ(倍)	1.9	1.8	0.1ポイント悪化

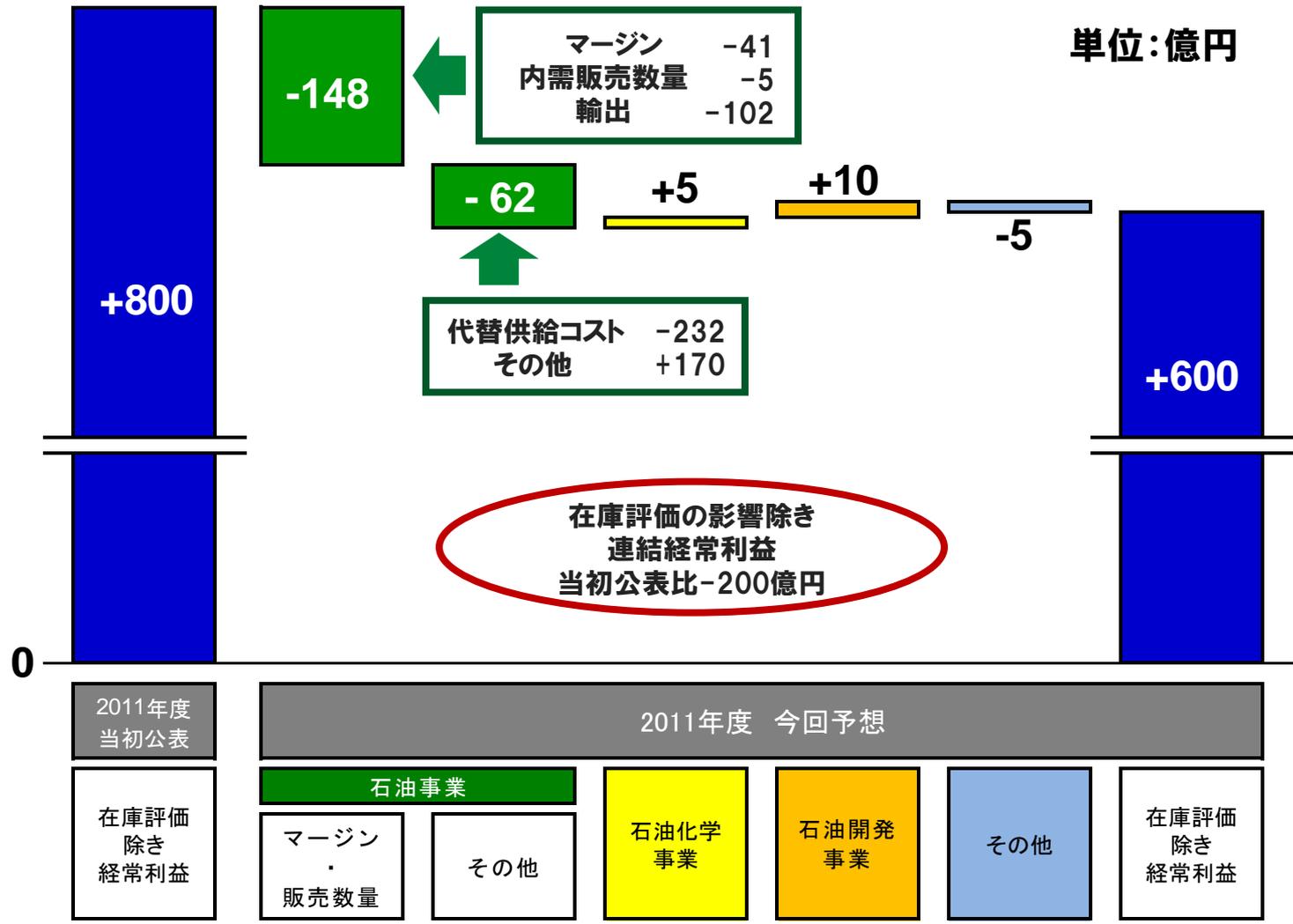
※有利子負債総額から現預金および短期運用資金残高を控除したもの

	11年度通期予想	11年度当初公表	当初公表比
連結経常利益	720億円	840億円	△120億円
在庫評価の影響(※)	120億円	40億円	80億円
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	600億円	800億円	△200億円
受入原油価格 為替	原油: 108.0\$/B 為替: 78.9円/\$	原油: 100.0\$/B 為替: 82.5円/\$	原油: +8.0\$/B 為替: △3.6円/\$

連結経常利益 セグメント別内訳

	11年度通期予想	11年度当初公表	当初公表比
石油事業	125億円	255億円	△130億円
石油事業 (在庫評価影響除き)	5億円	215億円	△210億円
石油化学事業	15億円	10億円	5億円
石油化学事業 (在庫評価影響除き)	15億円	10億円	5億円
石油開発事業	560億円	550億円	10億円
その他	20億円	25億円	△5億円

※在庫評価の影響 石油事業: +120億円



補足資料

- P15 : 【第4次中計】損益・財務計画および前提
- P16 : 【第4次中計（石油化学事業）】アロマ事業拡大（PX事業参入①）
- P17 : 【第4次中計（石油化学事業）】アロマ事業拡大（PX事業参入②）
- P18 : 【第4次中計（環境・新エネ事業）】ALA事業の進捗 ①
- P19 : 【第4次中計（環境・新エネ事業）】ALA事業の進捗 ②
- P20 : 【第4次中計（環境・新エネ事業）】ALA事業の進捗 ③
- P21 : 【11年度通期業績予想】連結業績予想の概要 前期比
- P22 : 【11年度通期業績予想】連結業績予想の概要（在庫評価除き）前期比 増減分析
- P23 : 【11年度2Q実績】原油コスト・処理量、稼働率、感応度、原油生産数量
- P24 : 【11年度2Q実績】販売数量

※最新の「データブック」および「用語集」は以下URLのIRサイトに掲載しています。

<http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/financial/index.html>

補足資料

- P25 : 【11年度2Q実績】 セグメント別実績:前年同期比
- P26 : 【11年度2Q実績】 セグメント別実績:前回公表比、前年実績比
- P27 : 【11年度2Q実績】 連結 設備投資の概要
- P28 : 【11年度2Q実績】 人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移
- P29 : 【ご参考】 軽油輸出の実績・マージン環境
- P30 : 【ご参考】 石油化学事業 アロマ市況①
- P31 : 【ご参考】 石油化学事業 アロマ市況②

※最新の「データブック」および「用語集」は以下URLのIRサイトに掲載しています。

<http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/financial/index.html>

■連結業績予想 (億円)

	実績	実績	見直計画	当初計画
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
売上高	26,121	27,715	30,700	26,430
営業利益	342	1,041	740	690
連結経常利益	364	961	720	650
当期純利益	-107	289	130	330
在庫評価の影響	526	223	120	0

■セグメント別経常利益 (億円)

	実績	実績	見直計画	当初計画
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
石油事業	32	584	125	350
NET石油事業	-484	361	5	350
石油化学事業	59	-3	15	40
NET石油化学事業	49	-3	15	40
石油開発事業	299	347	560	240
その他	-26	33	20	20

■前提

	実績	実績	見直計画	当初計画
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
原油価格(\$/BBL)	67.97	82.17	108.00	75.00
為替(¥/\$)	92.89	86.04	78.90	90.00

※2011年度の原油価格(\$/BBL): 上期実績(110.38)、下期予想(107.00)。

※2011年度の為替(¥/\$): 上期実績(80.60)、下期予想(78.00)。

■BS、その他の指標 (億円)

	実績	実績	当初計画	
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
総資産	16,450	15,794	15,170	14,770
自己資本	3,157	3,327	3,480	3,740
有利子負債	7,777	7,001	6,600	6,020
ネット有利子負債	5,488	6,058	5,560	4,900
ROE	-3.3%	8.9%	8.3%	9.1%
ROA	-0.7%	1.8%	0.5%	0.6%
自己資本比率	19.2%	21.1%	23.0%	25.4%
D/Eレシオ	2.5	2.1	1.9	1.6
ネットD/Eレシオ	1.7	1.8	1.6	1.3

規模のメリットによる圧倒的コスト競争力

◆新設PX装置80万t/年／1製油所でPX製造118万t/年は世界最大規模

PX事業参入により、高付加価値な事業分野までポートフォリオ拡充

◆原油／PXマージンを享受

◆PXは、ポリエステル繊維、PET樹脂といった生活必需品の原料であり、これらポリエステル繊維等には代替品が存在しない。

⇒ポリエステル需要は人口増にリンクしており、安定的なPX需要の伸びが期待

投資タイミング

◆2013年以降のPXマージン拡大をにらんだ投資計画

海外(韓国)事業展開のメリット享受

◆優遇税制を活用できる環境

韓国

・有利な法人税率(=22.0%)の活用

・外資出資会社への税制優遇制度活用(外資比率50%):

7年間は優遇税率(*) (1-5年目 11%, 6-7年目 16.5%, 以降22.0%)

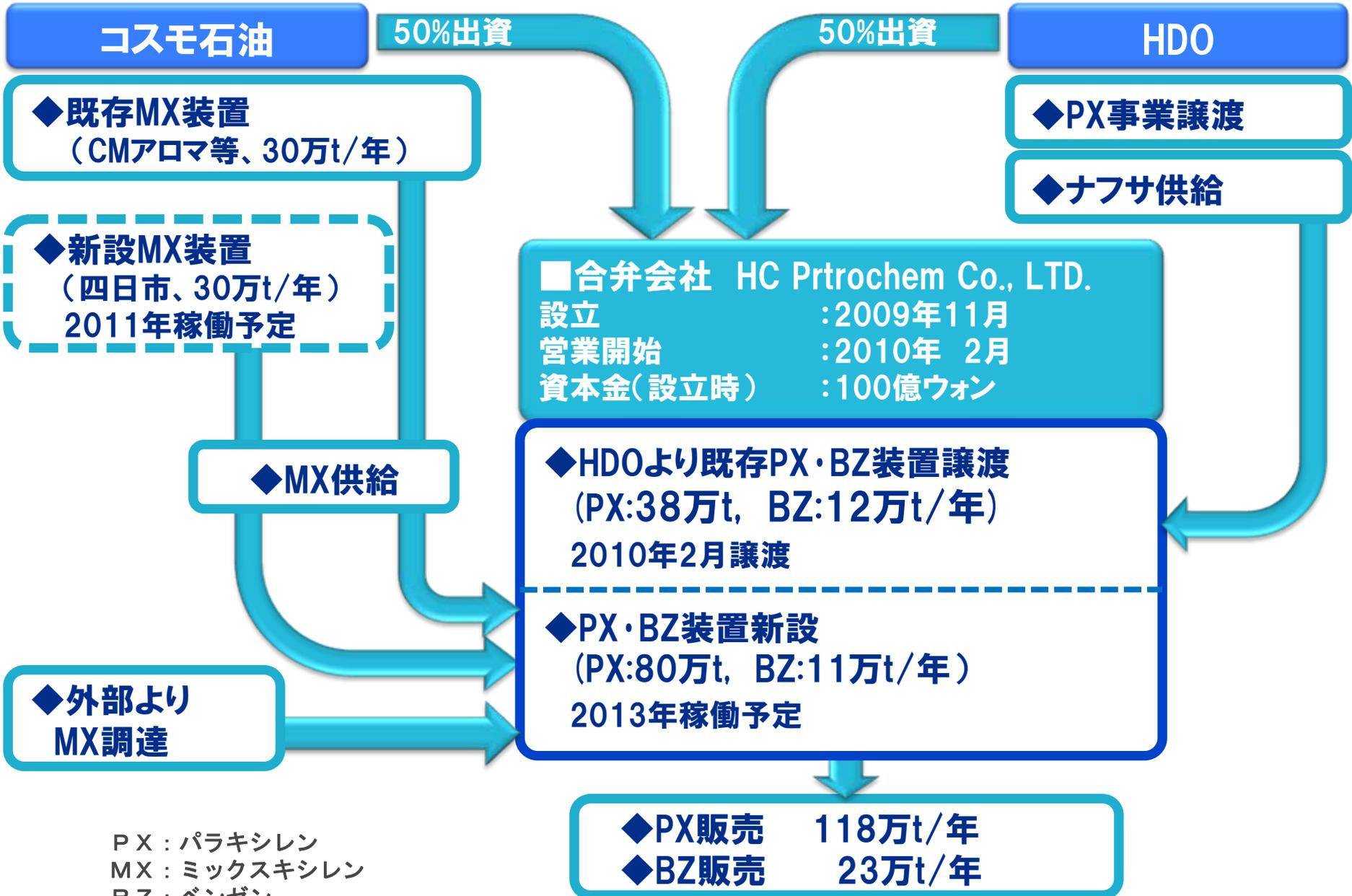
日本

・海外子会社配当益金不算入制度活用(2009年4月～, ほぼ海外税率適用)

(*) 優遇税率適用に際しては韓国当局の審査が必要条件。適用は課税所得発生後7年間。

HDOのノウハウ・資源の活用

◆HDOの事業ノウハウ・資源(人材・土地・製油所インフラ)の活用



PX : パラキシレン
 MX : ミックスキシレン
 BZ : ベンゼン

環境分野における新規事業展開 ⇒ 将来の収益の柱へ

◆青字は事業開始案件

原体

原体事業

- ◆肥料用・飼料用・健康食品用・研究試薬用の原体製造・販売中
- ◆医薬用の原体製造・販売に向けた体制準備中

ALA原体供給
世界シェア 約80%

最終製品

肥料事業

- ◆液体肥料「ペンタキープ」（農家用）／「ペンタガーデン」（家庭園芸用）販売中
 - ⇒ 販売規模の拡大（日本・欧州）と新規市場開拓（中国・米国）
 - ⇒ 中国の現地法人にて販売開始。
 - ⇒ 米国にて試験実施中。並びに販売ルート開発中。
- ◆固形肥料の商品開発中

■肥料事業

	備考	2010年度	2011年度	2012年度以降
液体肥料	日本	販売中		
	欧州	販売中		
	中国	販売ルート開拓	販売中	
	米国	試験評価 ・ 販売ルート開拓		販売開始予定
固形肥料		商品開発中		販売開始予定

環境分野における新規事業展開 ⇒ 将来の収益の柱へ

最終製品

飼料事業

◆青字は事業開始案件

- ◆国内向け水産用飼料の原料登録・販売中（インターベット社から最終製品販売中）
- ◆家畜飼料・ペット向けの商品開発中

■飼料事業

	備考	2010年度	2011年度	2012年度以降
水産用		販売中		
家畜用		商品開発中		販売開始予定
ペット用		商品開発中		販売開始予定

環境分野における新規事業展開 ⇒ 将来の収益の柱へ

医薬・化粧品・健康食品事業

◆青字は事業開始案件

最終製品

- ◆健康食品 ⇒ パートナ企業よりサプリメント販売開始
- ◆化粧品（パートナ企業からハンドクリーム・フェイスクリームの商品販売中）
- ◆脳腫瘍の術中診断・癌治療
⇒ 脳腫瘍術中診断薬の臨床試験中
- ◆育毛剤 ⇒ ミルボン社との共同開発中。

合併会社SBI777°社を通じて推進

■ 医薬・化粧品・健康食品事業

	備考	2010年度	2011年度	2012年度以降
健康食品	サプリメント	販売中		
化粧品	ハンドクリーム フェイスクリーム	販売中		
医薬部外品	育毛剤	商品開発中		販売開始予定
医薬品	脳腫瘍 (術中診断)	臨床試験		販売開始予定

	11年度通期予想	10年度通期実績	前年比
連結経常利益	720億円	961億円	△241億円
在庫評価の影響(※)	120億円	223億円	△103億円
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	600億円	738億円	△138億円
受入原油価格 為替	原油: 108.00\$/B 為替: 78.90円/\$	原油: 82.17\$/B 為替: 86.04円/\$	原油: +25.83\$/B 為替: △7.14円/\$

連結経常利益 セグメント別内訳

	11年度通期予想	10年度通期実績	前年比
石油事業	125億円	584億円	△459億円
石油事業 (在庫評価影響除き)	5億円	361億円	△356億円
石油化学事業	15億円	△3億円	18億円
石油化学事業 (在庫評価影響除き)	15億円	△3億円	18億円
石油開発事業	560億円	347億円	213億円
その他	20億円	33億円	△13億円

※在庫評価の影響 石油事業: +120億円

単位:億円



【1】原油コスト・原油処理量・稼働率

		11年度2Q	10年度2Q	前年同期比	
受入原油	原油(FOB) \$/BBL	110.38	75.68	34.70	—
	為替レート ¥/\$	80.60	90.1	△ 9.50	—
	受入原油代(税込) ¥/KL	59,462	46,200	13,262	—
原油処理	原油処理量千KL	9,174	12,587	△ 3,413	72.9%
	トッパー稼働率(CD)	49.7%	77.9%	△ 28.2%	—
	トッパー稼働率(SD)	85.6%	90.3%	△ 4.7%	—

※SD: 定期整備等の影響を除いた稼働率

※2010年2月2日にトッパー公称能力削減(635千BD→555千BD)、2011年3月15日に能力増強(555千BD→635千BD)

【2】感応度

	石油事業	石油開発事業
原油 +1 \$/B	+20 億円	+2 億円
為替 +1 ¥/\$	+27 億円	+3 億円

※上記は原油価格・為替変動の在庫評価益、自家燃コスト、タイムラグに対する影響。(低価格の影響は考慮せず)

【3】原油生産数量

		11年度2Q	10年度2Q	増減率	出資比率
開発会社 生産数量 (B/D)	アブダビ石油	22,634	23,539	96.2%	63.0%
	カタール石油開発	6,072	6,809	89.2%	75.0%
	合同石油開発	9,768	14,002	69.8%	45.0%

※生産量: プロジェクト会社の期中平均生産量。(各社12月決算会社のため生産期間は1-6月)

※カタール石油開発は2010年7月20日に投資比率を85.7%から75.0%に変更

※合同石油開発は2010年3月29日に投資比率を35.0%から45.0%に変更

(千KL)

		2011年度 2Q実績	2010年度 2Q実績	増減	前年同期比	2011年度 通期予想 (当初公表比)	2011年度 通期予想 (前年比)
内需燃料油	ガソリン	3,120	3,291	△ 171	94.8%	99.1%	96.4%
	灯油	557	653	△ 96	85.2%	98.0%	94.3%
	軽油	2,228	2,185	43	102.0%	101.0%	102.5%
	A重油	941	1,105	△ 164	85.2%	99.0%	87.7%
	4品計	6,846	7,234	△ 388	94.6%	99.5%	96.5%
	ナフサ	3,247	3,135	112	103.6%	104.9%	98.8%
	ジェット	236	257	△ 21	91.8%	85.2%	82.0%
	C重油	998	1,080	△ 82	92.4%	113.9%	114.0%
	(内 電力C重油)	412	461	△ 49	89.4%	117.8%	140.8%
	計	11,327	11,706	△ 379	96.8%	101.8%	98.2%
中間留分輸出	軽油	98	504	△ 406	19.3%	25.6%	32.5%
	灯油/ジェット	64	153	△ 89	42.0%	18.9%	29.4%
	計	162	657	△ 495	24.6%	24.0%	31.9%
保税販売他	ジェット	807	798	9	101.1%	106.7%	97.7%
	C重油	278	268	10	103.6%	103.2%	101.5%
	その他	213	213	0	100.0%	73.9%	89.0%
	計	1,298	1,279	19	101.5%	99.3%	97.1%
バーター・その他		4,602	4,599	3	100.1%	99.2%	88.9%
総販売数量		17,389	18,241	△ 852	95.3%	97.9%	93.8%

11年度2Q実績 前年同期比

単位:億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
石油事業	14,258	1,532	83	△ 29	61	△ 20	△ 70	△ 277
石油化学事業	145	△ 19	6	13	16	29	16	26
石油開発事業	401	32	244	54	252	60	252	60
その他	258	△ 84	△ 3	0	2	0	2	0
消去他	△ 527	99	△ 55	△ 60	△ 55	△ 60	△ 55	△ 60
合計	14,535	1,560	275	△ 22	276	9	145	△ 251

※ 石油事業の在庫評価影響額は+131億円(前年同期比+260億円)

※ 石油化学事業の在庫評価影響額は0億円(前年同期比±0億円)

グループ会社(セグメント別)

石油事業 : コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ他

石油化学事業 : コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学(持分法適用会社)、HCペトロケム(持分法適用会社)

石油開発事業 : アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発(持分法適用会社)他

その他 : コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス他

11年度通期予想 前回公表比

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前回公表比		前回公表比		前回公表比		前回公表比
石油事業	30,010	1,610	185	△ 175	125	△ 130	5	△ 210
石油化学事業	290	△ 260	5	0	15	5	15	5
石油開発事業	930	30	540	20	560	10	560	10
その他	750	0	15	0	25	0	25	0
消去他	△ 1,280	120	△ 5	△ 5	△ 5	△ 5	△ 5	△ 5
合計	30,700	1,500	740	△ 160	720	△ 120	600	△ 200

- ※ 石油事業の在庫評価影響額は+120億円(前回公表比+80億円)
- ※ 石油化学事業の在庫評価影響額は0億円(前回公表比±0億円)

11年度通期予想 前年実績比

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
石油事業	30,010	2,722	185	△ 478	125	△ 459	5	△ 356
石油化学事業	290	△ 169	5	1	15	18	15	18
石油開発事業	930	231	540	187	560	213	560	213
その他	750	63	15	2	25	△ 2	25	△ 2
消去他	△ 1,280	138	△ 5	△ 13	△ 5	△ 11	△ 5	△ 11
合計	30,700	2,985	740	△ 301	720	△ 241	600	△ 138

- ※ 石油事業の在庫評価影響額は+120億円(前年実績比△103億円)
- ※ 石油化学事業の在庫評価影響額は0億円(前年実績比±0億円)

設備投資・減価償却費等

【11年度2Q実績】 単位:億円

	11年度2Q実績	前年同期比
設備投資	117	△ 226
減価償却費等	254	12

【11年度通期予想】

	今回通期予想	当初公表比
設備投資	377	△ 31
減価償却費等	511	4

設備投資 セグメント別

【11年度2Q実績セグメント別前年同期比】 単位:億円

	11年度2Q実績	10年度2Q実績	前年同期比
石油事業	59	231	△ 172
石油化学事業	3	5	△ 2
石油開発事業	56	112	△ 56
その他	2	0	2
調整額	△ 3	△ 5	2
合計	117	343	△ 226

【11年度通期予想セグメント別当初公表比】

	今回通期予想	当初公表	当初公表比
石油事業	228	208	20
石油化学事業	7	7	0
石油開発事業	150	189	△ 39
その他	7	20	△ 13
調整額	△ 16	△ 16	0
合計	377	408	△ 31

【1】人員数推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度2Q
石油単体	1,729	1,718	1,916	1,957	2,064	2,180	2,135	2,069
グループ	3,480	3,451	3,335	3,299	3,269	3,325	3,268	3,193

※各年度3月末時点

※グループ:(08年度まで)石油単体+出向 (09年度以降)石油単体+出向+試傭員+シニア社員

【2】油槽所数推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度2Q
DT数	38	38	38	38	38	36	35	35

【3】運営者別SS数推移(可搬式を含む)

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度2Q
販社	1,065	1,190	1,122	1,104	1,023	1,025	967	961
特約店	3,746	3,456	3,294	3,074	2,937	2,786	2,678	2,637
合計	4,811	4,646	4,416	4,178	3,960	3,811	3,645	3,598

※05年度までは12月末時点とし、06年度からは3月末時点

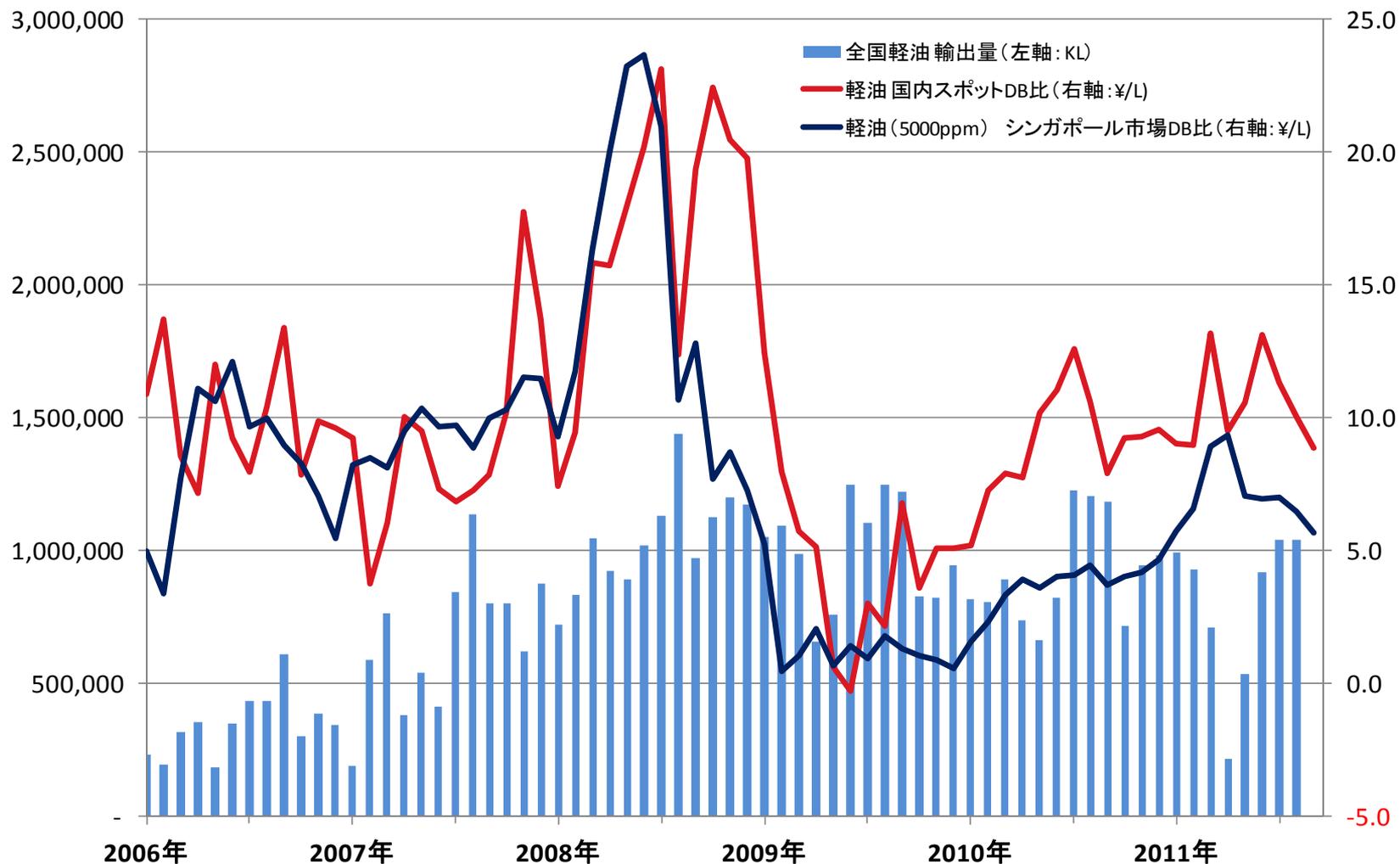
【4】セルフSS数推移(【3】の内数)

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度2Q
販社	295	370	463	507	551	575	548	573
特約店	188	256	326	360	404	429	455	434
合計	483	626	789	867	955	1,004	1,003	1,007
セルフSS数比率	8.1%	10.3%	13.8%	18.1%	21.0%	24.4%	26.6%	28.2%

【5】コスモ・ザ・カード枚数推移(06年度よりオーパスも含む数値) (万枚)

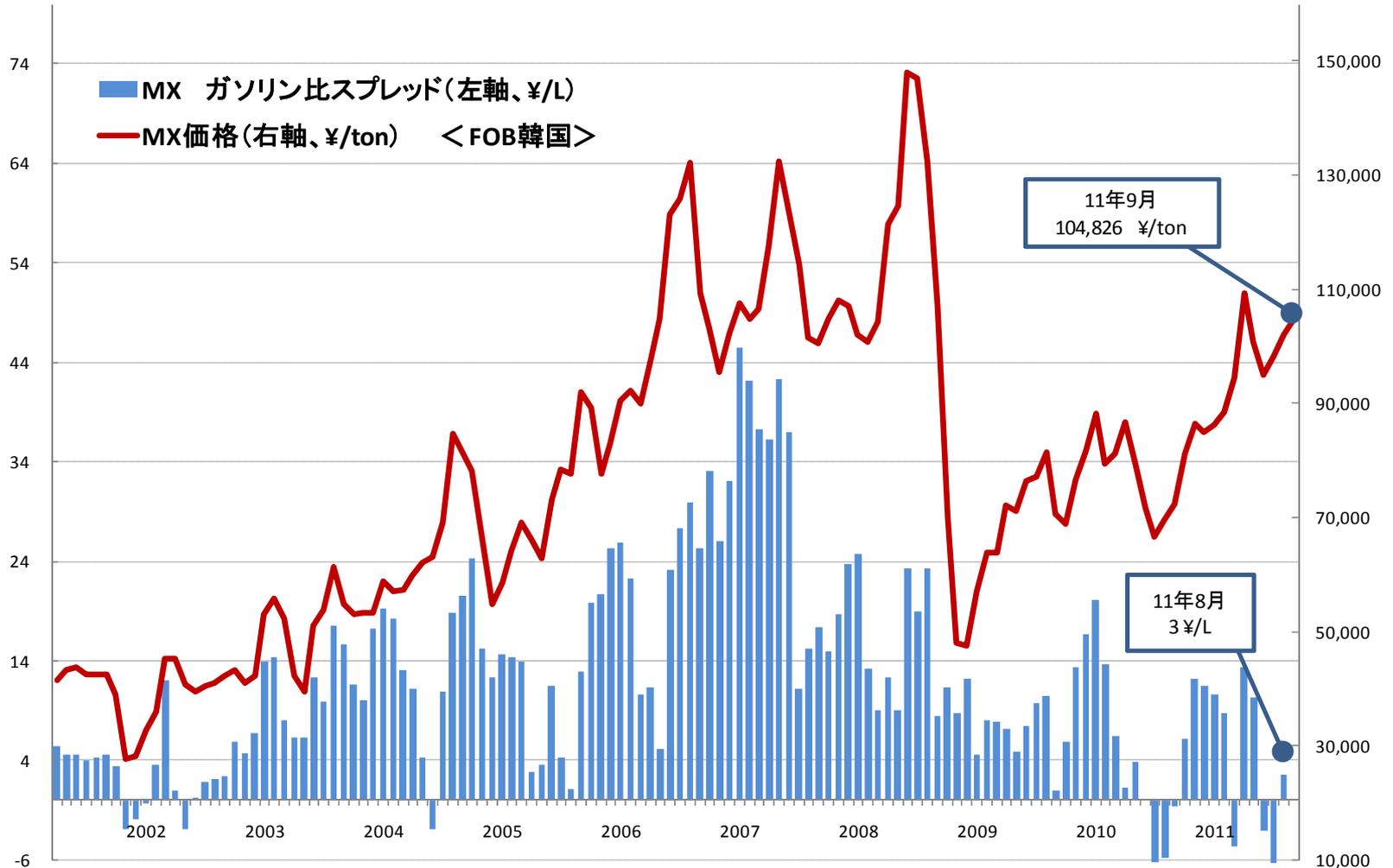
	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度2Q
有効枚数	242	255	280	305	335	357	367	374

軽油の輸出量と国内／海外マージンの推移

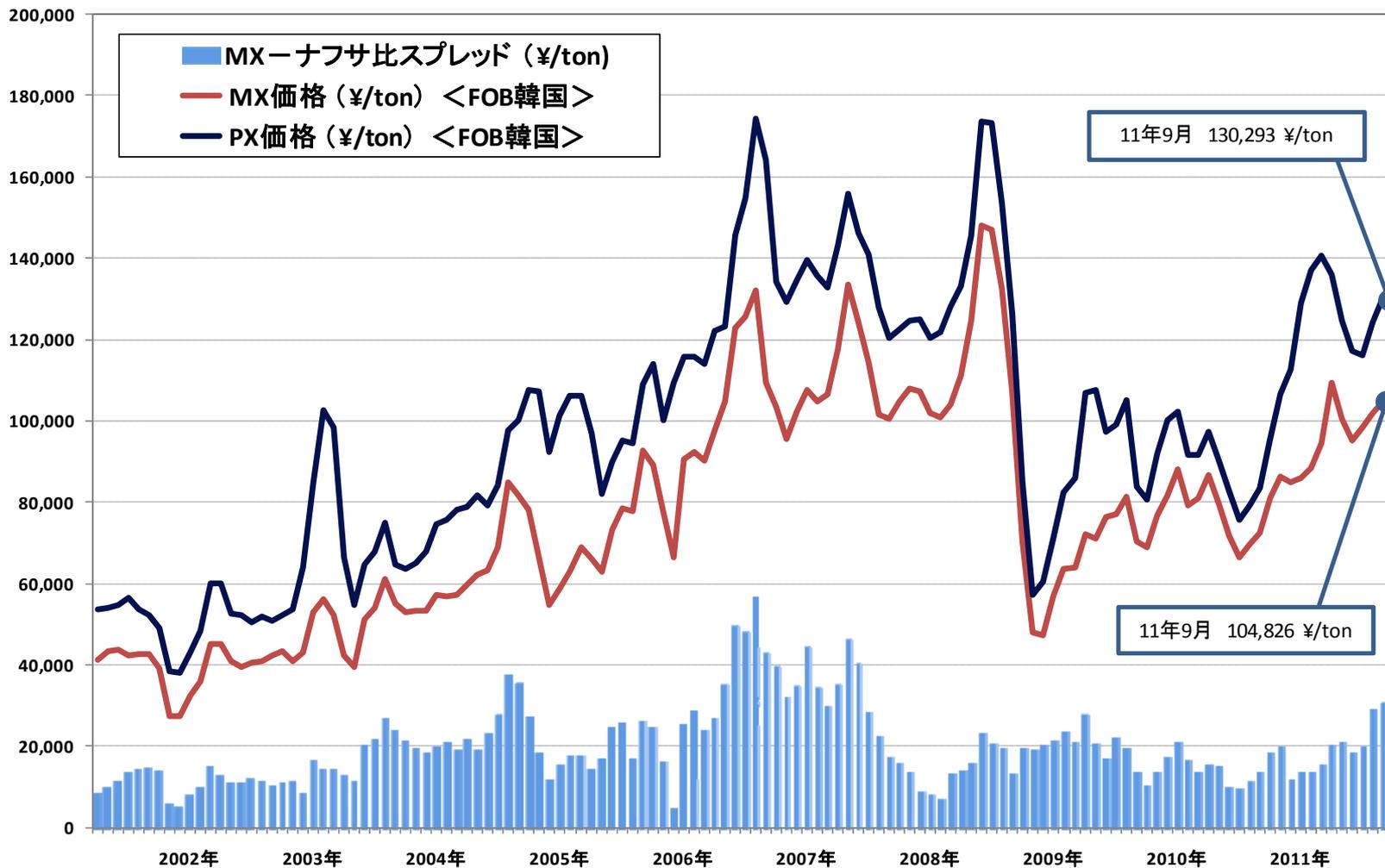


※輸出量実績の公表データは2011年8月が最新情報

【MX市況】 MX-ガソリン比スプレッドの推移



【PX・MX市況】MX－ナフサ比スプレッドの推移



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。